

## ◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)あり、血清型はO111です。本年の累積報告数は26例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。  
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(70歳代男性)あります。本年の累積報告数は27例で、過去10年間で最も多い報告数となっています。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あります。本年の累積報告数は34例となっています。
- RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.90(119例)で、報告数の増加が続いています。発症の中心は0歳児と1歳児です。感染予防のため、マスクの着用や流水・石鹸による手洗いを励行しましょう。

## ◆ 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

- 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、8.54(350例)と増加したものの、過去5年間の同時期に比べ少ない状況です。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 1例(肺結核 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 26例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 27例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 34例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 45例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.28	19
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.54	350
	② RSウイルス感染症	2.90	119
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.63	67
	④ 伝染性紅斑	0.83	34
	⑤ 水痘	0.63	26
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

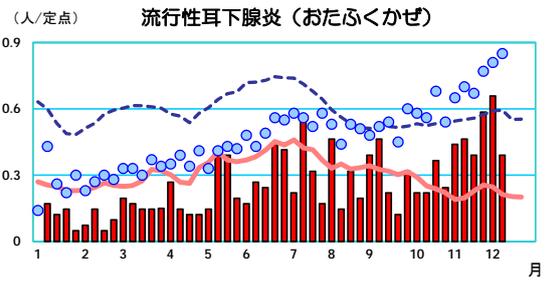
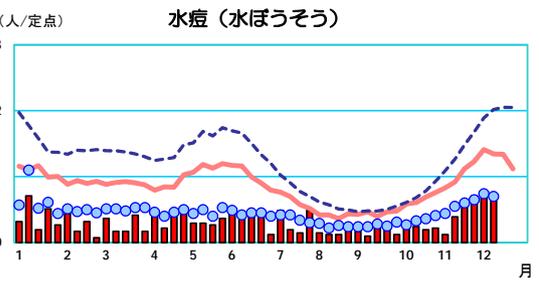
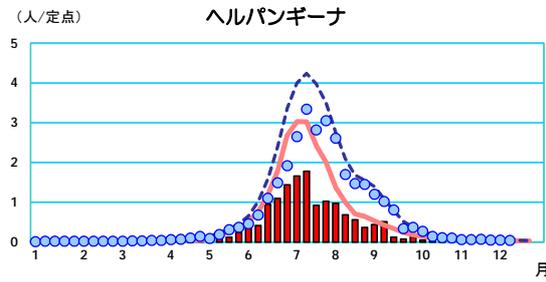
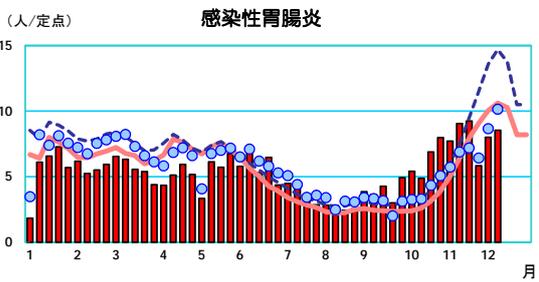
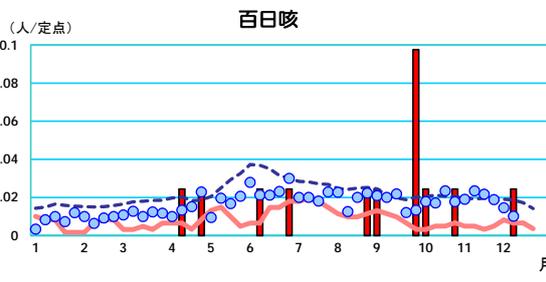
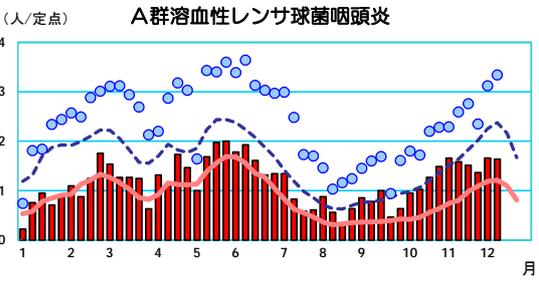
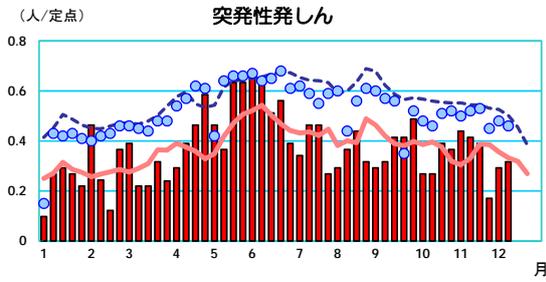
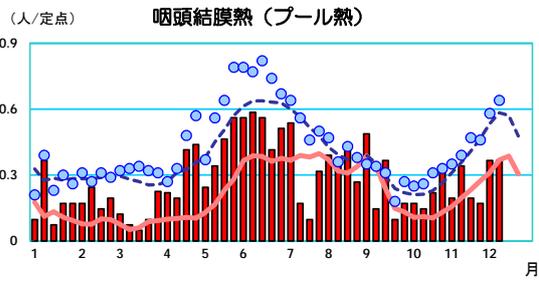
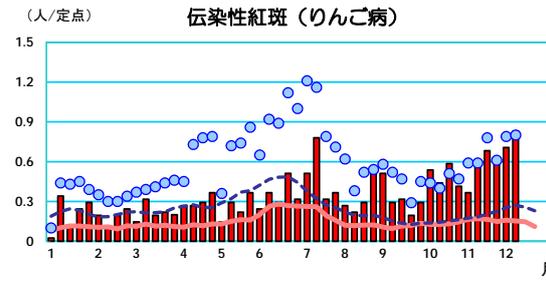
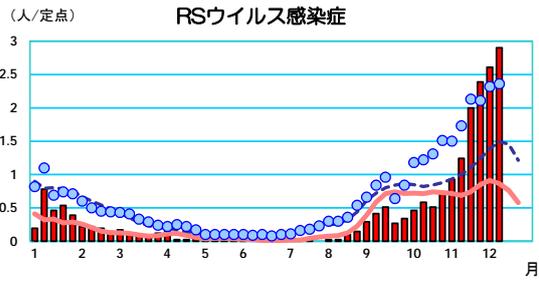
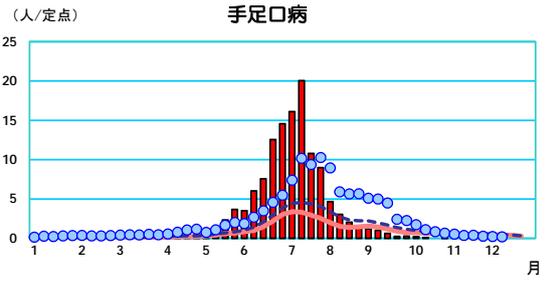
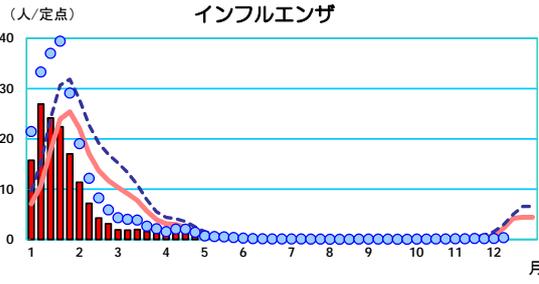
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成27年12月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



## 第50週(12月7日～12月13日)トピックス: <感染性胃腸炎>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、8.54(350例)と増加したものの、過去5年間の同時期に比べ少ない状況です(図1)。しかし、この時期、全国及び京都市の過去5年平均値は増加傾向を示し、また、本年第49週から感染性胃腸炎の報告が増加していますので、今後の発生動向に注意が必要です(図2)。年齢階級別では、1～2歳の報告が多く、5歳以下の報告で約6割を占めています(図3)。

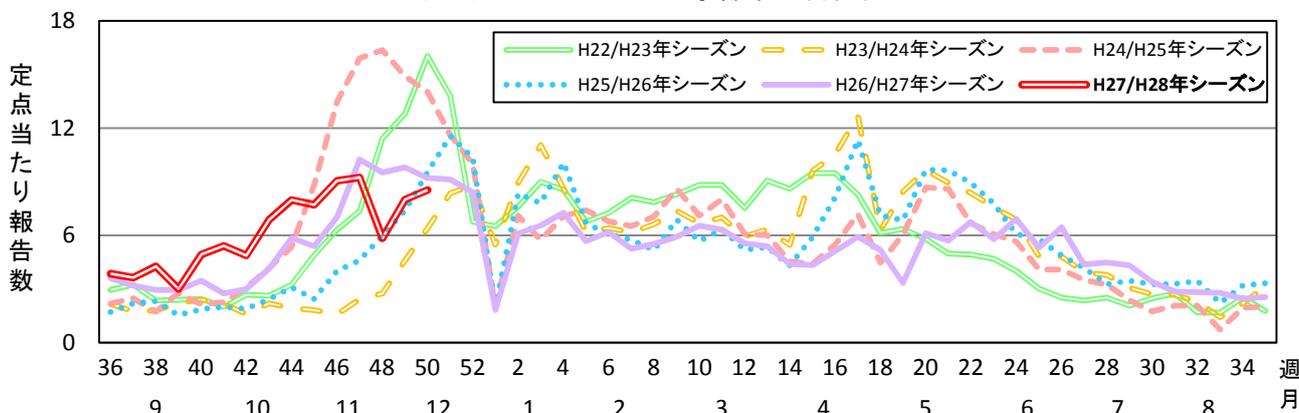
感染性胃腸炎は多種多様の病原微生物によるものを含めた症候群名です。冬季に患者発生報告数が増加し、原因の大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染であると推測されます。また、患者発生のピークは例年12月中に現れ、主な原因はノロウイルスによるものと考えられています。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間～数日(平均1～2日)で、主な症状は嘔気、嘔吐及び下痢であり、嘔吐、下痢は1日数回から多いときには10回以上のこともあります。しかし、症状持続期間は数時間～数日(平均1～2日)と比較的短く、以前から他の病気がある等の要因がない限り、重症化して長期にわたり入院を要することはまれです。特効薬はなく、治療は対症療法となりますが、最も重要なことは水分補給によって脱水を防ぐことです。

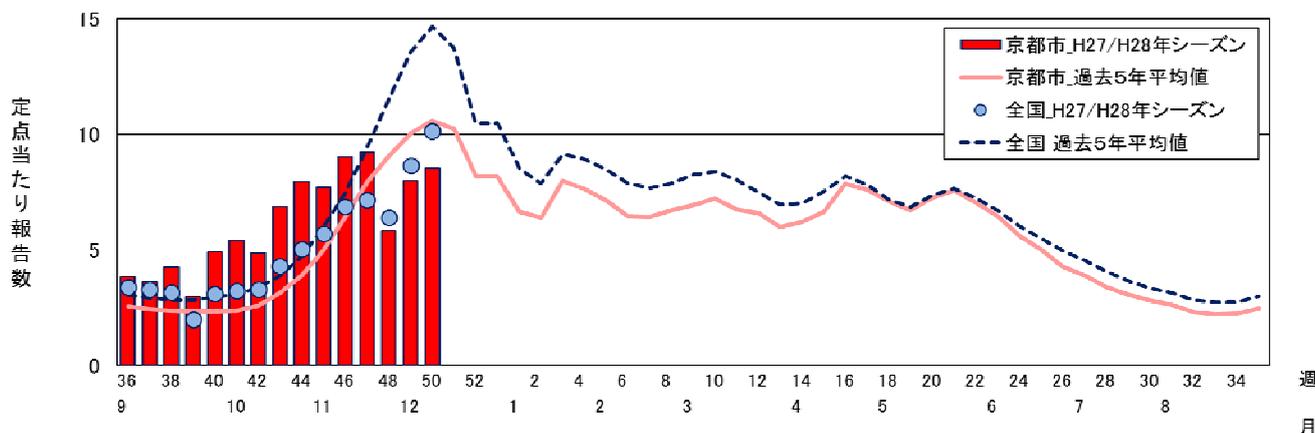
ノロウイルスの感染経路としては、食中毒としての経口感染が先に知られていましたが、感染後の発症者や無症状病原体保有者との直接又は間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒートヒト感染もあります。感染力が非常に強いノロウイルスの感染予防には、流水、石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理が極めて重要です。

これからの季節はノロウイルスが、集団生活施設である保育施設等で集団発生を引き起こす原因となります。突然の患者発生にすぐに対応できるように、消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム溶液)やマスクや手袋を含む嘔吐物処理セットを準備し、かつ、吐物等の適切な処理手順を確認しておきましょう。

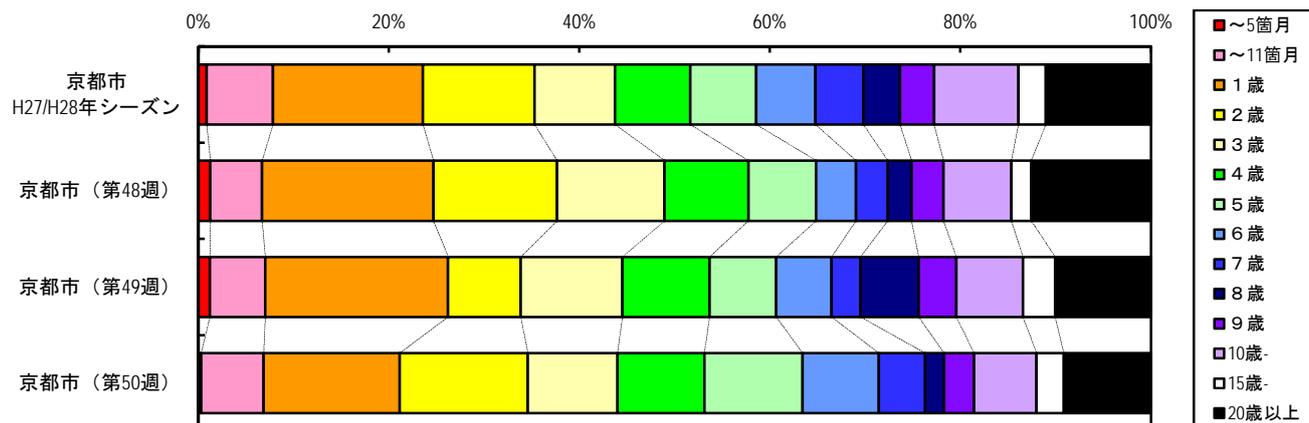
(図1)過去5シーズンの京都市の流行状況



(図2)京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図3)年齢階級別定点当たり報告割合



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第50週

疾病,行政区別報告数

平成27年12月7日～平成27年12月13日

データ入手日:平成27年12月16日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎(※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎(※3)	感 染 性 胃 腸 炎(※4)	
男女合計																				
北	1	7	1	3	13	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
上京	-	3	1	7	14	3	-	2	2	-	-	2	-	-						
左京	2	3	-	4	66	8	-	4	1	-	-	2	-	-						
中京	1	12	-	1	17	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	6	10	-	2	29	-	-	-	-	1	-	-	-	-						
山科	-	21	2	11	6	4	-	-	-	-	1	2	-	1						
下京	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	2	-	-	3	17	6	-	5	3	-	-	-	-	-						
右京	1	18	4	8	63	-	-	5	2	-	-	2	-	2						
伏見	6	41	3	22	82	2	2	10	4	-	3	7	-	2						
西京	-	3	4	6	42	-	1	3	1	-	1	1	-	-						
京都市計	19	119	15	67	350	26	3	34	13	1	5	16	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎(※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎(※3)	感 染 性 胃 腸 炎(※4)	
男女合計																				
北	0.14	1.75	0.25	0.75	3.25	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-						
上京	-	1.00	0.33	2.33	4.67	1.00	-	0.67	0.67	-	-	0.67	-	-						
左京	0.29	0.75	-	1.00	16.50	2.00	-	1.00	0.25	-	-	0.50	-	-						
中京	0.20	4.00	-	0.33	5.67	0.67	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.00	5.00	-	1.00	14.50	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
山科	-	5.25	0.50	2.75	1.50	1.00	-	-	-	-	0.25	0.50	-	1.00						
下京	-	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.40	-	-	1.00	5.67	2.00	-	1.67	1.00	-	-	-	-	-						
右京	0.13	3.60	0.80	1.60	12.60	-	-	1.00	0.40	-	-	0.40	-	2.00						
伏見	0.55	5.86	0.43	3.14	11.71	0.29	0.29	1.43	0.57	-	0.43	1.00	-	1.00						
西京	-	0.75	1.00	1.50	10.50	-	0.25	0.75	0.25	-	0.25	0.25	-	-						
京都市計	0.28	2.90	0.37	1.63	8.54	0.63	0.07	0.83	0.32	0.02	0.12	0.39	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第50週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年12月7日～平成27年12月13日

データ入手日:平成27年12月16日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	19	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	4	3	-	1	3	2	-	1
RSウイルス感染症		119	12	19	41	27	11	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		15	-	-	5	2	-	4	1	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		67	-	-	1	3	7	7	13	9	9	6	5	6	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		350	1	23	50	47	33	32	36	28	17	7	11	23	10	32	-	-	-	-	-	-
水痘		26	-	2	1	3	4	3	3	1	2	3	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	3	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		34	-	-	-	-	3	1	12	6	6	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	3	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		5	-	-	3	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		16	-	-	1	2	-	2	1	5	-	1	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.28	-	-	0.01	-	0.01	-	-	-	-	-	-	0.04	0.06	0.04	-	0.01	0.04	0.03	-	0.01
RSウイルス感染症		2.90	0.29	0.46	1.00	0.66	0.27	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.37	-	-	0.12	0.05	-	0.10	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.63	-	-	0.02	0.07	0.17	0.17	0.32	0.22	0.22	0.15	0.12	0.15	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		8.54	0.02	0.56	1.22	1.15	0.80	0.78	0.88	0.68	0.41	0.17	0.27	0.56	0.24	0.78	-	-	-	-	-	-
水痘		0.63	-	0.05	0.02	0.07	0.10	0.07	0.07	0.02	0.05	0.07	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.07	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.83	-	-	-	-	0.07	0.02	0.29	0.15	0.15	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.32	-	0.07	0.22	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.12	-	-	0.07	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.39	-	-	0.02	0.05	-	0.05	0.02	0.12	-	0.02	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.30	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第50週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年12月16日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	6	7	10	6	7	19
RSウイルス感染症	38	51	82	98	107	119
咽頭結膜熱	8	14	8	7	15	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	65	62	56	68	67
感染性胃腸炎	316	371	379	239	328	350
水痘	5	16	22	29	32	26
手足口病	-	2	2	2	3	3
伝染性紅斑	15	23	28	26	29	34
突発性発しん	18	17	16	7	12	13
百日咳	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	-	-	2	1	-	5
流行性耳下腺炎	18	19	16	24	27	16
急性出血性結膜炎	-	2	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	2	8	4	9	5
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	498	589	635	499	637	673

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	0.09	0.10	0.15	0.09	0.10	0.28
RSウイルス感染症	0.93	1.24	2.00	2.39	2.61	2.90
咽頭結膜熱	0.20	0.34	0.20	0.17	0.37	0.37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.66	1.59	1.51	1.37	1.66	1.63
感染性胃腸炎	7.71	9.05	9.24	5.83	8.00	8.54
水痘	0.12	0.39	0.54	0.71	0.78	0.63
手足口病	-	0.05	0.05	0.05	0.07	0.07
伝染性紅斑	0.37	0.56	0.68	0.63	0.71	0.83
突発性発しん	0.44	0.41	0.39	0.17	0.29	0.32
百日咳	-	-	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ	-	-	0.05	0.02	-	0.12
流行性耳下腺炎	0.44	0.46	0.39	0.59	0.66	0.39
急性出血性結膜炎	-	0.20	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.20	0.80	0.40	0.90	0.50
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.54	14.60	16.00	12.42	16.15	16.61

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。